



Annual Report 2015 → 2016

<年次報告書>


 挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に
NPO法人 G-net



代表挨拶

この街を愛し誇ること。そして、誰か人のせいにせず「自ら手を上げ行動する若者を育みたい」というのがG-net創業の原点です。また、地域活性には、その街に人が住むこと。人が住むためには、魅力ある仕事があることが重要だと考えます。事業所の99%は中小企業だからこそ、地域の魅力ある中小企業がいかに売上を上げ、そしてその右腕となる人材を育み活躍するかがキモだと考えます。

そこでG-netでは、13年目を迎えた「ホンキ系インターン事業」を中核に、3年前より「就職・採用支援事業」を展開しています。また13年より、より直接中小企業の売上アップを応援する機会として、岡崎ビジネスサポートセンター・OKa-Bizのセンター長を拝命しました。

▼ホンキ系インターン、質向上と、他地域ノウハウ移転へ

G-netのホンキ系インターン事業(6ヶ月-)は堅調に推移しています。金融機関や大学、楽天との連携なども確実にすすみ、補助・助成金などなく自立的に運営されています。こうした取り組みは、15年より「高校 政治経済」教科書に掲載・紹介されています。

地域協働型インターン(1ヶ月-)は、直接運営からは徐々に撤退し、大学や地域団体が主体となった運営形態へノウハウ移転をすすめます。

ホンキ系・地域協働型ともに今後、品質の向上とノウハウの言語化に注力をし、コーディネーター育成と、他団体のコンサルティングを進めます。尾鷲商工会議所やNPO法人コラボキャンパス三河(岡崎市)、名古屋学院大学や愛知県立大学でもG-netがノウハウ提供をするプログラムが採用されました。また、地方創生の一環で16年度には熊本県八代市でG-netモデルの取り組みがスタートします。

▼中小企業と「みぎうで」となる若者をつなぐ、「就職」と「採用」に本格参入

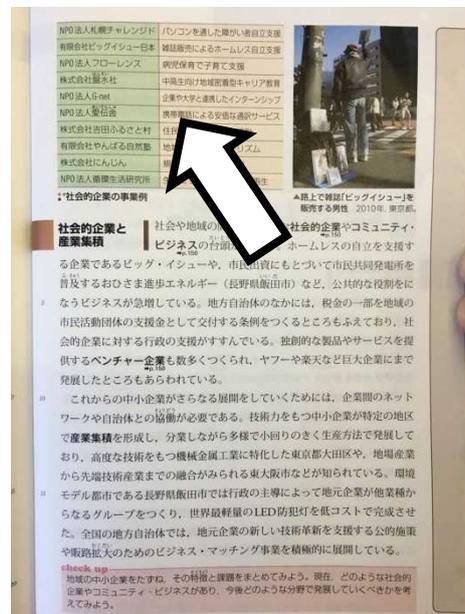
インターン事業で得られた「限られた期間で若者を戦力化し、定着を促すコーディネートノウハウ」を活かした、これまでにない採用・就職支援の取り組みを進めます。有料職業紹介免許の取得と共に、引き続き事業開発に注力します。なお中部経済産業局事業の受託により経営的な安定を確保しながら、全国的にも稀有なみぎうで就職・採用支援事業の開発を進めていきます。

▼中小企業の売上アップにコミットする、OKa-Biz(愛知県岡崎市)

富士市産業支援センター・f-Bizをモデルにした中小企業相談所センター長を、2013年10月より秋元が拝命しています。年齢や資格的に通常得られないチャンスをお出宗昭氏の推挙を受け得られたのがきっかけです。現在でも相談3週間待ちと「行列のできる相談所」となり、OKa-Bizでの高い成果と得られたノウハウやネットワークを、G-netの取り組みに活かしています。

インターン事業の他地域展開を担当する共同代表として南田修司、インターン事業部長として田中祥子、そして就職・採用支援事業部長の田中勲、また事務局長の加藤美奈はじめスタッフの主体的な活躍が、秋元のOKa-Bizとの兼務を可能にし、また昨年度の高い実績につながりました。

新たな挑戦を続けるG-netを引き続きよろしく申し上げます。



特定非営利活動法人G-net
代表理事 秋元 祥治

G-netのロードマップ

▼G-netの推移

2001年に学生サークルとして発足し、2016年10月1日には満15年となります。また、長期実践型インターンシップ事業に着手して、13年目を迎えました。当初は柳ヶ瀬商店街にオフィスを構え、お祭りや雑誌制作を通じた地域活性化に取り組んできました。その後、地域活性には中小企業振興と、それを担う「右腕」人材の育成・コーディネートが必要だと考え、2006年にはお祭り・雑誌から事業撤退して、選択と集中。現在の長期実践型インターンシップ事業と就職・採用支援を中心としたG-netへと転換してきました。2013年10月より、秋元が中小企業の売上アップ支援に特化した相談所・岡崎ビジネスサポートセンターOKa-Bizセンター長に就任しました。



- ・経産省/チャレンジコミュニティ創成事業採択(04~06)
- ・「ホンキ系インターン」事業開始(04~)
- ・地域協働型インターン事業開始(10~)
- ・名古屋学院大学現代社会学部と提携(14~)

- ・経産省/創業支援フォーラム・創業塾開催(06~)
- ・一般社団法人SRプラットフォーム参画(11)
- ・インキュベーションオフィスかけたす(07~09)
- ・ブラザー工業協賛「東海若手起業塾」(08~)
- ・岡崎ビジネスサポートセンターOKa-Biz(13~)

- ・経産省「新連携」「地域資源活用プログラム」等採択(06~)
- ・経営力向上にむけ理事会改組(09)
- ・学生向け情報サイト「ホンキ系ガクセイ」運営開始(14~)

- ・東日本大震災復興支援活動(11)

- ・岐阜大学「学生ボラネット」開設(12~)
- ・賛助会員制度の発足(10)
- ・地域若者応援ファンドの新設(12~)

- ・若者と企業と地域のための研究所 設立(12)
- ・『岐阜「中小企業と若者」就職白書』1・2号 発行(12~)
- ・「日本仕事百貨」との事業提携締結(12~)
- ・『若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選』発行(13)
- ・地域で活躍する若者事例集『みぎうでという働き方』発行(14)

- ・就職・採用支援事業「みぎうで」開始(14~)
- ・ゴールドマンサックス中小企業経営革新プログラム(14~)
- ・グロービス経営大学院と連携した中小企業若手向け研修事業(14~)
- ・中小企業庁「UIターン人材拠点事業」採択(15~)
- ・楽天株式会社地域活性グループとの連携開始(15~)
- ・クラウドファンディングで支援を受け事務所を改装・コワーキング化(15~)
- ・LGBTフレンドリーな組織づくりを目指し、社内規定を改定(16~)



ビーンズフェスタ2002



ORGAN



インターンシップフェア



ホンキ系ガクセイ



地域若者応援ファンド



若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選

2015年度会計報告

■総括

2015年度は、収入が前年比148%、正味財産増減額は14,648千円でした。主な要因は、①2015年5月末に決算期の変更(3月末→5月末)、②中小企業庁からの大口事業(合計:78,904千円)を受託し、事業規模が拡大したためです。

■全体収益・支出、収益種類

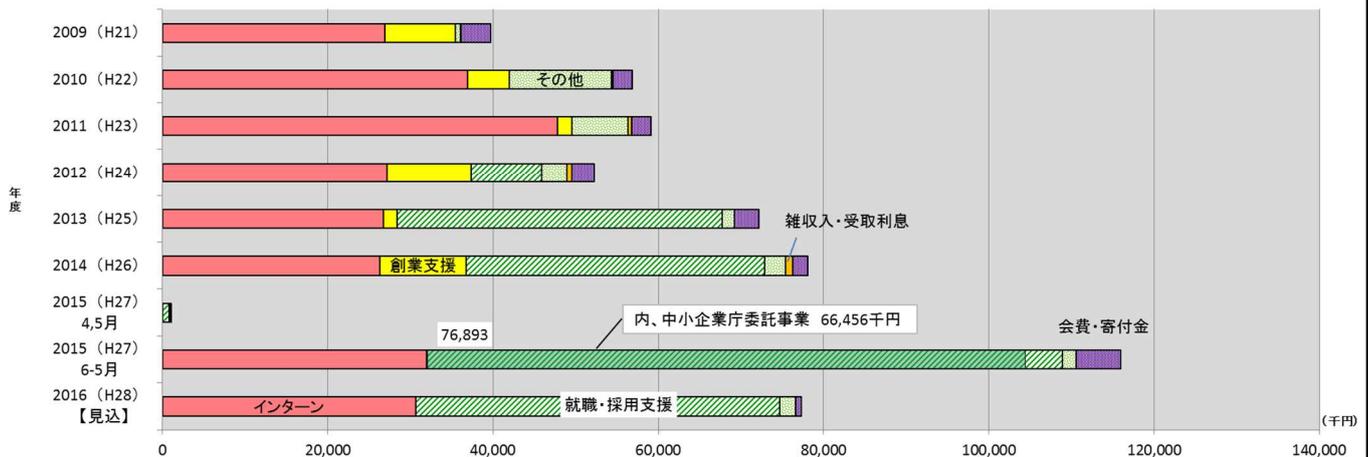
	A:12ヶ月 2015.6~2016.5	B:2ヶ月 2015.4~5	A+B:14ヶ月 2015.4~2016.5	前年度比 A+B/C	C:前年度 12ヶ月 2014.4~2015.3
収益	115,977,468	1,014,368	116,991,836	149.8%	78,115,947
支出	101,328,884	8,581,615	109,910,499	145.8%	75,367,949
正味財産増減額	14,648,584	-7,567,247	7,081,337	257.7%	2,747,998
収益種類					
自主財源(会費、寄付含む)	37,067,709	1,013,931	38,081,640	136.0%	27,991,818
行政受託	78,904,201	0	78,904,201	248.6%	31,738,154
補助・助成	0	0	0	0.0%	14,993,454
その他	5,558	437	5,995	0.7%	909,191

■事業部門別前年度対比

事業名	主要事業	A+B:14ヶ月収益 2015.4~2016.5	全体に占める割合	前年度比	前年度 2014年 収益
インターン事業	ホンキ系インターン、地域人材コーディネーター養成事業(中小企業庁)	31,992,064	27.3%	122%	26,262,430
創業・中間支援事業	東海若手起業塾等	59,889	0.1%	1%	10,460,946
就職採用支援事業	就職採用支援事業(みぎうで)、UIターン人材拠点事業(中小企業庁)、地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業(同上)	77,660,874	66.4%	215%	36,165,548
その他の事業	賛助会費、寄付、講演等	7,279,009	6.2%	139%	5,227,023
合計		116,991,836	100.0%	150%	78,115,947

■全体収益の構成推移

収入内訳の推移



	2016 (H28) 【見込】	2015 (H27) 6-5月	2015 (H27) 4,5月	2014 (H26)	2013 (H25)	2012 (H24)	2011 (H23)	2010 (H22)	2009 (H21)
■ インターンシップ	30,670,000	31,979,623	12,441	26,262,430	26,689,532	27,185,673	47,817,961	36,891,831	26,880,211
■ 創業支援・中間支援	0	59,889	0	10,460,946	1,667,668	10,165,734	1,715,463	5,077,596	8,584,174
■ 就職・採用支援	43,999,608	76,892,725	768,149	36,165,548	39,338,852	8,518,800	0	0	0
■ その他	1,940,000	1,594,720	114,630	2,459,426	1,504,866	3,095,220	6,825,640	12,353,154	548,046
■ 雑収入・受取利息	0	5,558	437	909,191	12,589	531,133	386,873	155,322	120,967
■ 会費・寄付金	660,000	5,444,953	118,711	1,858,406	2,910,766	2,720,182	2,393,768	2,328,030	3,533,769

ホンキ系インターンシップ

堅調な長期実践型インターン事業、 楽天(株)とのコラボプログラムを新規実施

15

33

社

受入企業
(のべ)

← 32社

41

名

インターン
学生数

← 45名

27

大学

授業等
連携大学

← 26大学

- 大学内説明会など大学との連携進む
 - 金城学院大学など学内説明会の実施。キャリアセンター/大学教員との連携強化
 - 立教大学と連携しての学生受け入れ実施。
 - 企業
 - 新規受入企業の開拓と実施。
 - 楽天(株)とのコラボプロジェクト実施。新規ネットショップ事例の創出。
 - 学生
 - インターンシップ体験談を掲載したBlogの新規立上げ
 - インターンシップフェアでのマッチング向上のための試行錯誤の実施
- 【他地域展開支援事業/中企庁事業】
- 短期・中期インターンは直営ではせず、ノウハウ提供と人材育成に特化
コーディネーター人材の育成と、ノウハウの他地域・他機関移転支援
コーディネーター養成事業を受託。各県のコーディネーター育成を本格的に開始



楽天(株)とのコラボプロジェクト開始

直営ホンキ系変革期。『広報戦略の強化』と『パートナー制度』を推進する

16

40

社

受入企業
(のべ)

← 33社

50

名

インターン
学生数

← 41名

30

大学

授業等
連携大学

← 27大学

- 【直営ホンキ系インターンシップ事業部】
- 企業開拓・サポート方針
 - 岐阜・愛知県企業、地場産業企業を中心に新規企業開拓を推進
 - 他機関と連携してインターンの成果を増大させるプログラムの企画の確立 (楽天(株)、ゴールドマン・サックス中小企業経営革新プログラム、LGBTなど)
 - 学生
 - 1月1研修会の改定。外部に向けた研修プログラムとしても開講する。
 - ターゲット別の仮説をたててのメディア広報の実施と検証
 - 大学連携
 - 大学内でのランチ説明会の実施。ゼミ連携の実施。
- 【他地域展開支援事業/中企庁事業】
- 愛知県事業の受託、飛騨信用組合へのノウハウ展開の実施

ターゲットごとに仮説を立てた広報戦略
教員向け、内定後向けなど



中期インターンシップ／大学連携

(4-6週間インターンシップ)

10 ▶ 15

《中期インターンシップの取り組み》

- ・質を高めるプログラム作り
- ・ノウハウの蓄積
- ・大学との連携強化

▼これまでの実績

参加学生
(のべ)

215名

企業数
(のべ)

103社



成果

- ・岐阜大学「地域協働型インターンシップ」が『次世代地域リーダー育成プログラム』地域実践科目群へ。地域教学センター教員が主導に、半年のカリキュラムとして始動
- ・名古屋学院大学現代社会学部にて地域協働型インターンをモデルにした、実践型インターンシップをカリキュラム化。「社会実践型インターンシップ」として第1期を実施
- ・平成26年度にコーディネーター養成事業を受託。各県のコーディネーター育成・連携を実施
- ・飛騨高山地域のコーディネーター団体との連携

16

G-netの直営だけでなく、大学や他地域の機関を交えた
コーディネートができる体制づくりに

ホンキ系パートナー制度導入

中期インターンの仕組み作りから、他地域展開・ノウハウ移転へ
東海地域での実践型インターン実施団体としてのブランド確立

連携して取り組むパートナー機関

3～5

機関

1 機関

外部機関(ホンキ系パートナー)と連携することにより、「実践型のインターンシップ」が中部地域全域で実施できる体制づくりに着手。

■大学連携

- 定期的な情報配信。実績やインターン事例の見える化によるインターンの質保証
インターンAnnual Reportの作成と配布。
- 他団体への接続にもつながる大学連携の仕組みの構築
- 大学主体で運営できるような「実践教育型プログラム」としての体制構築への準備、検証。
学内コーディネーター育成に向けたFD及びSD研修の実施推進

■ホンキ系パートナー制度を中心としたHUB化

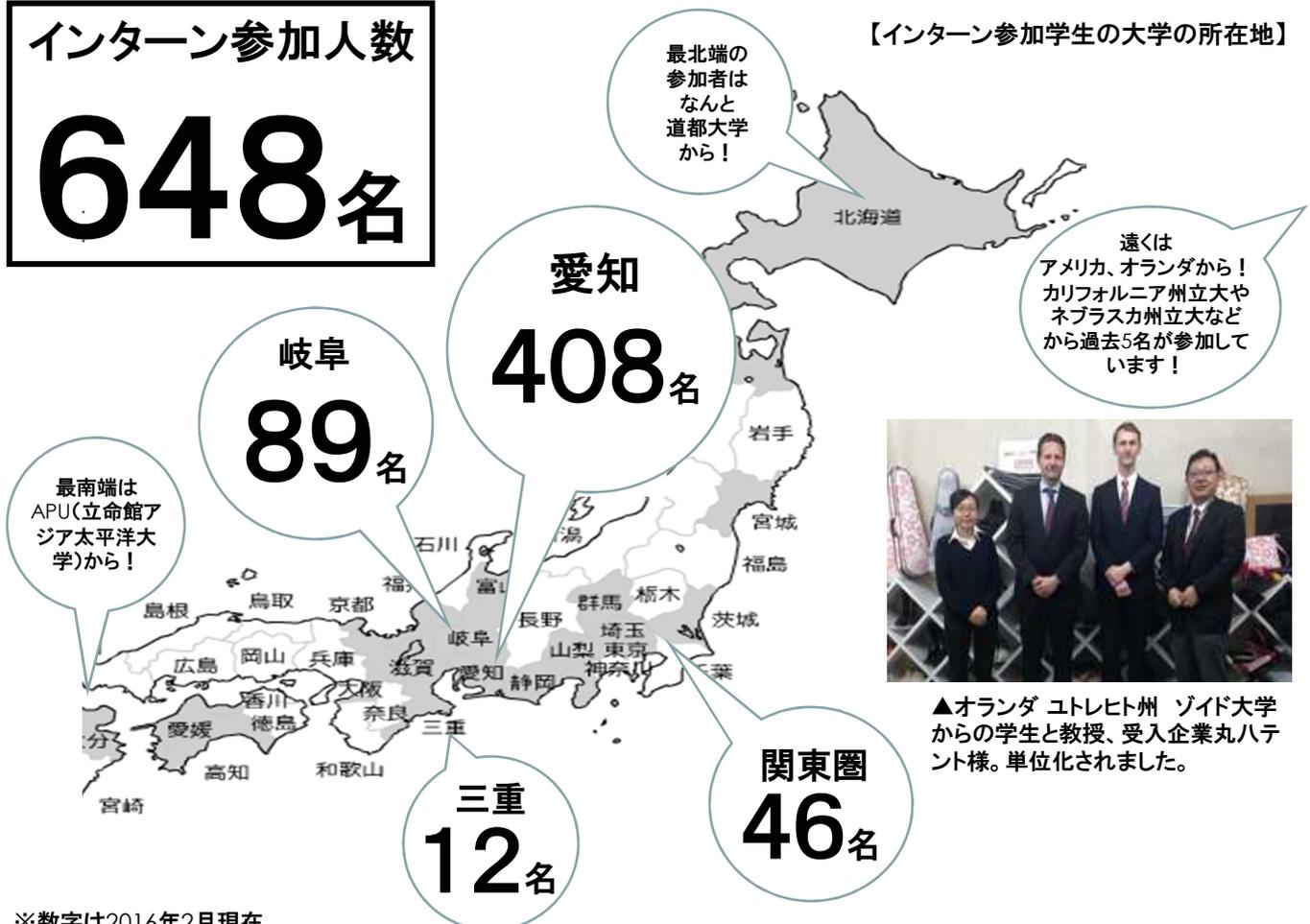
- コーディネーター人材の育成と、ノウハウの他地域移転支援・制度の仕組み作り。
プロジェクトブラッシュアップ研修・定期的な研修会への参加などパートナーとして得られる価値の提供。

インターンシップのこれまで

インターン参加人数

648名

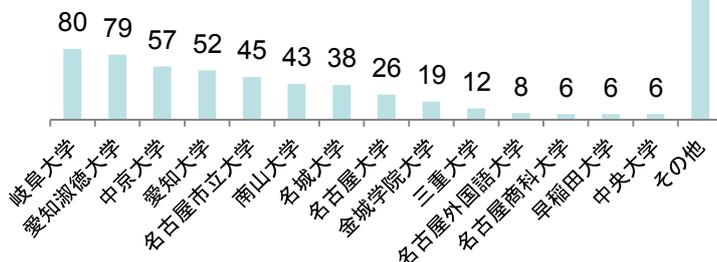
【インターン参加学生の大学の所在地】



▲オランダ ユトレヒト州 ゾイド大学からの学生と教授、受入企業丸八テント様。単位化されました。

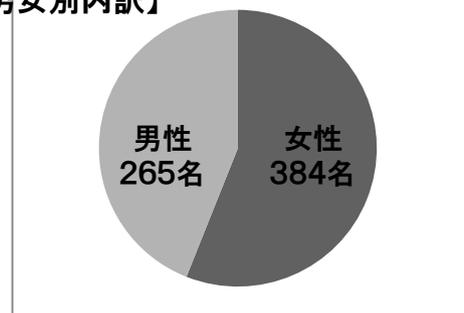
※数字は2016年2月現在

【大学別内訳】



参加学生数ナンバー1は岐阜大学。愛知では、愛知淑徳大学／中京大学／愛知大学／名古屋市立大学／南山大学から多くの学生が参加している。海外からの留学生も1名参加した。

【男女別内訳】



全体として女子学生の参加が増えているが、地域協働型は男子学生の参加数が伸びている。

主要な大学でインターンOBOGによる「インターン・コミュニティ」が継続しているだけでなく、教員との連携が加速し、学内での説明会開催など新たな接点を通じての参加が増えるようになった。

OBOGによるイベント運営なども定着している。

同様に、受入企業の募集も口コミ紹介や他事業での関係性をきっかけに、着実に増えている。

就職・採用支援事業 (みぎうで事業)

自主事業として2年目。G-netが実施する意義の模索と新たな潮流づくりへの挑戦を。

15

16卒

7社

13名

マッチング数

17卒

45社

登録企業数

166名

登録学生数

■地域中小企業の社外人事部として、

みぎうで人材の『育成』も含めたパッケージでの展開を。

17卒学生に対しては、単なる接点づくり・求人イベントの実施だけではなく、各プログラムを通じて「みぎうで」人材になれるよう、育成も含めたパッケージサービスを展開。マッチングした16卒の新入社員に対しては、入社後早期から活躍できるようにするため、入社前から企業と内定者とやり取りをし、プロジェクトを組んで育成・定着支援の準備を実施した。

■中企庁 岐阜県人材コーディネート機関事業、UIJターン人材拠点事業の実施

県CD機関はマイナビと、UIJターン拠点は名大社・地域問題研究所とコンソーシアムを組んで事業を実施。全国と連携して優秀な人材が地域の企業へ目が向きマッチングしていく大きな潮流づくりを目指すとともに、来年度以降も加速させていくための基盤を整備した。県CD機関事業では若者と中小企業の接点づくりに大きく貢献し、UIJターン拠点事業では全国としても先進的な取り組みを実施したと評価された。



新入社員向け「早期戦力化伴走サービス」のスタート採用力向上/キャリアスクールへも領域を。

16

17卒

10名

マッチング数

18卒

60社

登録企業数

キャリアスクール→就活サービス

150名

→

100名

登録学生数

■マッチングした'16新入社員は早期戦力化を目指し、同期のコミュニティに

長期実践型インターンでのコーディネートノウハウを活かし、みぎうでサービスを通じて2016年4月に入社した新入社員へPJ設計と合同研修会、モニタリングを実施する。各々の所属企業での早期戦力化と企業を超えた同期コミュニティでの地域産業の活性化を目指す。

■18卒向けに企業とは採用力向上を、学生とはキャリア自律への準備を

中部経済産業局「中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」を受託。本事業にて「意欲のある若者との接点機会を含む採用力向上実践塾」を実施する。単発のセミナーやイベントではなく、セミナーと実践を通じて企業の採用力向上を目指す。若者向けにはキャリアスクールを開校し、就活をゴールとしない、キャリア自律へ必要な準備をセミナーと実践を通じて実施する。

2017年、年明け以降本格化する就職・採用活動へ向け、両者とともに準備段階から伴走していく。



16卒の新入社員向け研修会
※イメージ

中小企業庁 UIJターン人材拠点事業【受託事業】

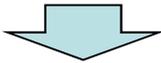
15

■UIJターン人材拠点事業について

本事業は、地域の中小企業、小規模事業者のニーズを把握して、都市部の若者を発掘し、地域事業者とのマッチングを行うものである。
特に、都市部から地方への若者のUIJターンを促進することだけでなく、それに加えて、地域の中小企業の将来を担える、意欲ある若者がUIJターンするための仕組みを作り出し、地方の活力を創生していくプラットフォームを構築することを目的としている。

■名古屋拠点で実施した事業の基本的な考え方

1. 経営に資する若手人材と挑戦する中小企業との接点作り
2. ダイレクトなマッチングを試行する打ち手と母集団コミュニティを構築する打ち手
3. 長期的な視点でプラットフォームを作る



■長期視点で、都市部を中心とする若手人材の発掘と中小企業とが交流できるプラットフォーム構築

「1. 経営に資する若手人材と挑戦する中小企業との接点作り」によって、質の高いUIJターンの実現を目指しながら、
「2. ダイレクトに転職層とリーチできる機会設計」によって、豊富なUIJターン実績をつくることで、長期視点で、名古屋市を中心とする都市部の若手人材の発掘と中小企業との交流のプラットフォームを構築

■名古屋拠点で実施した事業一覧

都市部の若手人材 の発掘 (出会いの機会)	取組 1 東海北陸シゴトフェスタ	中小企業への関心が高い若手人材を発掘する中規模イベント
	取組 2 UIJターン転職フェア	転職意向のある若手人材と出会う大規模マッチングイベント
	取組 3 転職フェアでのブース出展	大規模イベント内で、転職意向のある若手人材と出会うブース
	取組 4 しごとバー	「技」「もの」「文化」「地域」などのキーワードを通して、若手人材に、地方の中小企業の魅力を知ってもらうプログラム
若手人材と企業・ 地域との交流形成 (交流の機会)	取組 5 複数企業取材型インターンシップ	中小企業への関心が高い若手人材と地域の中小企業との交流プログラム
	取組 6 アイデアソンイベント	中小企業への関心が高い若手人材と、地域の中小企業が、ともに企業の経営課題等について考える、交流プログラム
	取組 7 地域留学	地域に関心のある若手人材が、地域を訪れ、地域への移住イメージを持つ交流プログラム
情報発信・啓発	取組 8 求人情報の発信	魅力的な地方の中小企業の求人情報の発信
	取組 9 マッチング事例の発信	都市部の若手人材が地方の中小企業に転職した事例、地方の中小企業と都市部の若手人材との交流によって双方に良い変化が生まれた事例の発信

中小企業庁 UJターン人材拠点事業【受託事業】

■具体的な取り組み事例

シゴトフェスタin名古屋

→業種・職種・条件ではなく一緒に働く「人」にフォーカスをあてた企業展。2回の実施で（2015年8月、2016年2月）、500名以上の若者が参加。人に着目し、それぞれがもつ働き方について話し合いができるプログラム設計にすることで、中小企業や業種に対するイメージをよい意味で覆すことができた。参加者の95%が中小企業への関心度が高まったとアンケートでも回答。



▲シゴトフェスタin名古屋

しごとバー

→地域で挑戦を続ける魅力的な中小企業をゲストに迎え、地域から全国に仕掛ける働き方、仕事に関する思いに触れるイベント。主に、若手社会人を対象とし、特定の地域や分野に関心を持つ、働くことや仕事観を振り返りたい層をターゲットとした。集客も253%を達成し、アンケートでは93%の参加者が満足と回答。



▲しごとバー

地域留学

→地域で働くことに興味を持つ若者が地域へ足を運び、その土地にある魅力的な仕事に出会い、体感する1泊2日のプログラム。地域に根差して働く人々との交流や、地域から積極的に全国へ事業を仕掛ける中小企業と出会うことで、地域で働く、転職することに対する魅力や、具体的なイメージを持ってもらうことができた。

シゴトリップ

→主に大学生をターゲットとし、勤務地よりもやりがいのある仕事に出会いたい、中小企業への就職も視野に入れている学生を対象としたインターンシップ。経営者・社員インタビュー、ワークショップを通じ、初めての仕事・働き方に多角的に出会う機会とした。訪問企業を比較することでより自分に合う企業に気づくプログラム。参加者の90%が中小企業への関心が高まったと回答。



▲シゴトリップ

アイデアソン

→特定の地域や事業ではなく、「商品開発」「プロモーション」「販路開拓」に興味がある若手社会人が対象。中小企業や地域が抱える実際の課題をテーマに、参加者同士がアイデアを出し合い、実現可能性が高い新規事業を提案する取り組み。多様な人との意見交換のなかで、自身の興味関心を見出し、新たな挑戦へつながる例も生まれた。

求人情報の発信

→魅力的な中小企業70社以上の求人情報をWEBサイトで発信。(株)ジオコスの協力を得て掲載内容のブラッシュアップも実施。実際にマッチングにも繋がった。

■1年間の事業実施を経て

- ・若者は、中小企業への就職・転職に対して潜在的にニーズをもっている。
働き方、やりがいのある仕事など適切な出会いが可能性を高める。
- ・ターゲットに応じた訴求方法、取り組みを見せていくことが大事。
しごとバーやアイデアソンは、潜在層を集める打ち手として効果的。
→ただし、それだけではマッチングに至らない。
就職へつなげる「ラストワンマイル」に、WEB媒体などでのマッチングを目的とした機会が必要
- ・UJターンに、「〇〇県の子会社」じゃダメ。結局重要なのは、「魅力ある会社」の発掘・発信。
- ・発信のノウハウの有無が、採用力の差。企業向け研修を強化。
入社後定着も意図した「企業側の改革」と攻めの「若者サポート」が必要。
→本気で採用する意志のない企業では接点があっても採用につながらない。
本気の企業の発掘、本気になるための仕掛けが欠かせない。

組織体制・ファンドレイズ

多様な人が関われる職場づくりへの動き出し クラウドファンディングで目標金額315%達成

15

■LGBTフレンドリーへの取り組み開始。すべての人が輝ける職場づくりへ
LGBTフレンドリーの推進に取り組む「on the ground project」市川武史氏による社内研修を実施。誰もが自分らしく生き生きと働ける制度、体制づくりに着手した。



■オフィスの大規模リノベーションを実施
(株)驚見製材さまの協力を得て、オフィスリノベーションを実施。スタッフだけでなく、インターン生や連携先企業さまとのディスカッションを実施。DIYを経て、12月に新オフィスが完成。

■ファンドレイズの新たな打ち手・クラウドファンディングに挑戦
オフィスリノベーションの実施にあたり、クラウドファンディングを活用。約200名の方に支援をいただき、目標金額を大きく超える約300万円の支援をいただく。年末には、新オフィスのお披露目会も開催。



7年ぶりの新卒スタッフ採用。 オフィス貸し出しも開始。新たな挑戦創出へ

16

■インターンコーディネーターとして、新卒スタッフを1名採用
安定的な事業運営や組織内のバランスを考え、7年ぶりの新卒採用を実施した。神奈川県出身・北海道大学卒の掛川遥香が4月に入社。



■多様な働き方が選べる職場づくりへ
LGBTフレンドリーへの取り組みに加え、プロボノとして新スタッフを迎えた。ライフスタイルに合わせた多様な働き方を選べるよう、社内体制・設備を強化。

■オフィスの貸し出し開始
オフィスの共有スペースの貸し出しを開始。打ち合わせ・研修・イベント・サテライトオフィスなど、新たなチャレンジ創出の場として広く活用いただけるように整備。



平成27年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自平成27年6月1日 至平成28年5月31日

平成27年度 活動計算書

平成27年6月1日から平成28年5月31日まで

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
受取会費	23,675,000	23,675,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	4,369,953	4,369,953	
3. 事業収益			
インターンシップコーディネート事業収益	15,929,623		
コミュニティビジネス・創業支援事業収益	59,889		
就職採用支援事業収益	70,342,725		
その他事業収益	1,594,720	87,926,957	
4. 補助金等収益			
補助金収益	0	0	
5. その他収益			
受取利息	3,011		
雑収入	2,547	5,558	
経常収益計			115,977,468
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	39,593,869		
法定福利費	5,185,772		
福利厚生費	498,364		
通勤費	270,950		
人件費計	45,548,955		
(2) その他経費			
広告宣伝費	4,939,639		
旅費交通費	7,201,333		
通信運搬費	211,216		
消耗品費	1,175,651		
修繕費	239,454		
印刷製本費	1,053,260		
燃料費	395,999		
光熱水道費	377,014		
賃借料	4,414,352		
保険料	629,854		
諸謝金	3,684,932		
租税公課	1,077,633		
委託費	18,798,246		
交際接待費	467,690		
通信費	336,908		
諸会費	217,301		
新聞図書費	198,860		
地代家賃	1,871,430		
会議費	1,391,737		
奨学費	1,700,000		
研修費	144,629		
雑費	1,093,926		
減価償却費	490,640		
その他経費計	52,111,704		
事業費計		97,660,659	

2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	1,057,131		
法定福利費	74,865		
厚生費	23,848		
人件費計	1,155,844		
(2) その他経費			
広告宣伝費	6,750		
旅費交通費	70,220		
通信運搬費	8,684		
消耗品費	645,751		
修繕費	11,459		
印刷製本費	45,298		
燃料費	6,087		
光熱水道費	18,048		
賃借料	11,450		
保険料	6,354		
諸謝金	2,181		
租税公課	272,899		
委託費	5,025		
交際接待費	18,943		
通信費	13,943		
諸会費	11,649		
新聞図書費	8,451		
地代家賃	88,797		
会議費	19,865		
奨学費	0		
研修費	2,689		
雑費	405,139		
減価償却費	23,478		
支払利息	809,221		
その他経費計	2,512,381		
管理費計		3,668,225	
経常費用計			101,328,884
当期正味財産増減額			14,648,584
前期繰越正味財産額			△ 7,295,562
次期繰越正味財産額			7,353,022

平成27年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自平成27年4月1日 至平成27年5月31日

平成27年度 活動計算書

平成27年4月1日から平成27年5月31日まで

特定非営利活動法人G-net
(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取会費	647,000	647,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	91,711	91,711
3. 事業収益		
インターンシップコーディネート事業収益	12,441	
コミュニティビジネス・創業支援事業収益	0	
就職採用支援事業収益	148,149	
その他事業収益	114,630	275,220
4. 補助金等収益		
補助金収益	0	0
5. その他収益		
受取利息	0	
雑収入	437	437
経常収益計		1,014,368
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	5,137,650	
法定福利費	813,455	
人件費計	5,951,105	
(2) その他経費		
旅費交通費	552,982	
通信運搬費	23,063	
消耗品費	19,406	
印刷製本費	81,698	
燃料費	57,583	
光熱水道費	52,650	
賃借料	188,165	
保険料	128,304	
諸謝金	50,908	
租税公課	98,280	
交際接待費	28,755	
通信費	46,311	
諸会費	11,377	
新聞図書費	21,225	
地代家賃	261,809	
会議費	70,856	
研修費	47,398	
雑費	30,394	
減価償却費	54,600	
支払利息	10,799	
その他経費計	1,836,563	
事業費計		7,787,668

2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	361,250		
法定福利費	75,224		
厚生費	80,587		
人件費計	517,061		
(2) その他経費			
広告宣伝費	50,000		
旅費交通費	22,915		
通信運搬費	2,699		
消耗品費	3,840		
印刷製本費	13,961		
燃料費	7,456		
光熱水道費	12,152		
賃借料	19,748		
保険料	4,226		
租税公課	22,682		
交際接待費	6,027		
通信費	9,994		
諸会費	2,623		
新聞図書費	4,895		
地代家賃	60,415		
会議費	8,544		
研修費	2,605		
雑費	7,013		
減価償却費	12,600		
支払利息	2,491		
その他経費計	276,886		
管理費計		793,947	
経常費用計			8,581,615
当期正味財産増減額			△ 7,567,247
前期繰越正味財産額			271,685
次期繰越正味財産額			△ 7,295,562

平成27年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成28年5月31日現在

平成27年度 貸借対照表

平成28年5月31日現在

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	25,906,614	
未収金	2,447,400	
棚卸資産	579,940	
前払費用	137,650	
仮払金	711,876	
未収入金	41,500	
流動資産合計		29,824,980
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物付属設備	1,587,866	
車両運搬具	1	
什器備品	1	
リース資産	1,342,200	
有形固定資産計	2,930,068	
(2)投資その他の資産		
出資金	210,000	
保証金	8,000	
投資その他の資産計	218,000	
固定資産合計		3,148,068
資産合計		32,973,048
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	6,898,101	
預り金	658,055	
流動負債合計		7,556,156
2. 固定負債		
長期借入金	16,608,000	
リース負債	1,455,870	
固定負債合計		18,063,870
負債合計		25,620,026
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		△ 7,295,562
当期正味財産増減額		14,648,584
正味財産合計		7,353,022
負債及び正味財産合計		32,973,048

平成27年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成27年5月31日現在

平成27年度 貸借対照表

平成27年5月31日現在

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,338,945		
未収金	3,247,600		
棚卸資産	801,302		
前払費用	66,416		
仮払金	726,267		
未収入金	251		
流動資産合計		24,180,781	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	1		
什器備品	1		
リース資産	452,900		
有形固定資産計	452,902		
(2)投資その他の資産			
出資金	210,000		
保証金	8,000		
投資その他の資産計	218,000		
固定資産合計		670,902	
資産合計			24,851,683
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	19,000,000		
未払金	5,173,333		
預り金	390,599		
仮受金	12,323		
流動負債合計		24,576,255	
2. 固定負債			
長期借入金	7,105,000		
リース負債	465,990		
固定負債合計		7,570,990	
負債合計			32,147,245
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		271,685	
当期正味財産増減額		△ 7,567,247	
正味財産合計			△ 7,295,562
負債及び正味財産合計			24,851,683



NPO法人G-net

〒500-8844

岐阜市吉野町6-2 ブラザービル2階

Tel.058-263-2162 Fax.058-263-2164

URL: <http://www.gifist.net> (コーポレートサイト)

URL: <http://www.honki-i.net> (学生向けサイト)

URL: <http://migiude.gifist.net/> (就職・採用支援事業サイト)

Facebook : <https://www.facebook.com/Gnet.gifu>

【お願い】

2012年度より、賛助会員制度(※別紙参照)を本格的に運用しております。

G-netのサポーターとして、個人・法人問わず多くの方々に支えていただけますよう宜しくお願いします。